

市民公開講座

最期まで私らしく生きていくための準備

～わたしの「人生の過ごし方」をどのように決めていくのか～

いつか誰にでも訪れるであろう「病い」や「老い」そして「死」。命を脅かすような「病い」を自分が背負ったとき、大切な人の命が脅かされたとき…どうしたら良いのでしょうか。治療の内容、仕事や家族のこと、誰とどのように過ごすのか、最期の時をどこでどう過ごすのか…「選択」の繰り返しです。

いま医療の現場では、命が脅かされる状態になったときに、患者さんが自分の意思を大切にして過ごすことができるよう、患者さんやご家族を支援する取り組みが始まっています。主役は“あなた”です。誰でもない“わたし”の「人生の過ごし方」をどのように決めていくのか、一緒に考えたいと思います。

日時：平成29年11月25日(土) 14:30～16:00 (14:00開場)

ところ：下関市生涯学習プラザ 海のホール 参加無料・予約不要

講師：社会医療法人博愛会 総看護部長 江口 恵子 先生



江口 恵子 先生 (講師紹介)

昭和25年生れ、熊本県出身。国立療養所霧島病院付属看護学校卒業。卒後4年目の夏、母が進行胃がんで10か月の闘病後50歳で亡くなった。母の看護の体験が自分にとって看護の出発点になったという。

「看護という仕事にめぐりあえた事に心から感謝しています。人が人として生きていくことの意味をこれほど強く感じ、その素晴らしさをこれほど感じる仕事も少ないと思います。一人ひとりがその人らしく生きていくことを、支援することを学び続けていきたいと思って活動をしています。」

共催：下関市医療・介護ネットワーク、下関市

お問い合わせ先

下関市医師会医療・介護連携推進室 TEL083-252-7409